

自然教育園見ごろ情報

2026年4月16日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」
をご覧ください
<https://ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目!

チョウジソウの
花が見頃です!



水生植物園で
見られます

ツボスミレ

名前のツボ（坪）は庭の古語で、
庭に生えるスミレという意味。
少し湿った場所であれば、普通
に見られるスミレの仲間です。



キンラン

金欄（きんらん）は、金色の花をつけるランという
意味です。生育地となる雑木林の手入れ不足や、
盗掘などにより個体数が減少し、野外ではあまり
見ることができなくなりました。



チョウジソウ

花の下の部分が胴長で、この形
が香辛料となるチョウジ（フト
モモ科の高木）の花に似ること
から、名前がつけました。有毒
植物です。川岸の木の下や湿地
にまとまって生えます。園芸目
的の採集や埋め立てなどにより
減少し、絶滅が危ぶまれる植物
です。

水生植物園で
見られます



ムラサキサギゴケ

湿り気のある場所に多く生育
します。小さく横に広がる様
子がゴケに似ていることが名
前の由来です。足元を観察し
てみてください♪



ミツデカエデ

名前は「小さい葉が3枚あるカエ
デ」という意味です。黄色の小さ
な花をたくさんつけた20cmほ
どの長い花序を垂らします。

全域で
見られます



ホウチャクソウ

和名の宝鐸（ほうちゃく）とは、
寺院の堂塔の四隅の軒などに吊る
す大きな鈴のことで、下向きに咲
く花をこれになぞらえています。



路傍植物園や
武蔵野植物園で
見られます

エビネ

地下茎の形がエビに似ていること
から、海老根（えびね）の名前が
つけました。山野の樹林に
生育し、日本の野生ランの中
では、普通にみられる種の一
つでしたが、美しい花の魅力
によって盗掘され、個体数が
減少しています。



シャガ

本種をヒオウギと混同し、その中国
名（漢名）「射干」を日本読みして
「シャガ」となったのが名前の由来。
繁殖力が強く、大群落を作ります。

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園